別紙資料

別紙1

記号	名称	摘要
1	にぎわいの広場	
2	水あそびの広場	
3	のりものの広場	
4	どうぶつ広場	
5	しばふ広場	
6	水辺の広場	
7	ちびっこ広場	
8	魚つりの広場	
9	水上ステージ	
A	浄化施設	
B	流れ	
C	スワンの池	
D	堀割	
E	釣池	
F	観覧車	
G	ファミリーコースター	
H	メリーゴーランド	
I	バッテリーカー	
J	コーヒーカップ	
K	スカイサイクル	
L	豆汽車	
M	ポニー乗り場	
N	ふれあいハウス	
O	キャンディハウス	
P	管理事務所	
Q	倉庫・詰所	
R	ちびっこ売店	
S	子供プール	キッズランド
T	スポーツハウス	
U	プール管理事務所	
V	地下駐車場	
W	都電一球さん号	
X	多目的グランド	
Y	バラ園	

全体面積	50,857㎡	
A地区	31,482㎡	(スーパー堤防7,733㎡含む)
B地区	5,234㎡	
C地区	14,141㎡	

＜業務委託先一覧＞

業務名		委託先	会社所在地
遊戯施設・入園案内・子供プール		(株)根岸鉄工所	埼玉県所沢市北秋津１２５
再委託	遊戯施設運転	ＫＣＡ(株)	あきる野市代継６００
	入園案内 子供プール運営	(株)東宝クリーン	荒川区東尾久８－１４－６
清　掃		(株)東宝クリーン	荒川区東尾久８－１４－６
樹木管理		岩田造園土木(株)	荒川区西日暮里１－５－１
浄化施設		クボタ環境サービス(株)	台東区松が谷１－３－５
流れ清掃		クボタ環境サービス(株)	台東区松が谷１－３－５
プールろ過点検		(株)東工業	大田区昭和島２－４－２
プール電磁弁シャワー保守		(株)羽興	豊島区南大塚３－１－２
非常装置点検		日進工業(株)	台東区台東４－２９－１３
キャンディハウスエレベーター保守		シンドラーエレベータ(株)東京支社	江東区越中島１－２－２１　ＹＫビル８階
廃棄物処理		高嶺清掃（株）	葛飾区東立石３－５－１
自家用電気工作物		(財)関東電気保安協会	荒川区南千住７－３０－８
夜間管理		(社)シルバー人材センター	荒川区東尾久４－３２－７
一球さん号		(有)徳栄商事	荒川区荒川１－５８－６
動物飼育		川原鳥獣貿易(株)	
釣り堀		(社)シルバー人材センター	荒川区東尾久４－３２－７
売店	ｷｬﾝﾃﾞｨﾊｳｽ	(株)フィールドサービス	品川区大崎３－１－５
	ちびっ子売店	(株)東京フードサービス	世田谷区桜新町１－１２－１３
地下駐車場		パーク２４(株)	千代田区有楽町２－７－１

大型遊戯施設の安全点検内容

項　　目	内　　容	実施状況
始業時点検	1. 放送設備等の状況 2. 試運転時の各装置の作動状況 3. 異臭. 異音の有無 4. 非常停止装置の作動状態 5. 補助エンジンの作動状態 6. 施設全般及び周辺部の清掃	営業開始前に、各機種設備・油糧・空気圧等を左記の点検項目を基準に実施
週間点検	1. 客席部分の座席. 扉. 身体保持装置の状態に関する事項 2. 安全柵の状態に関する事項 3. ブレーキ・安全装置・非常用装置等の作動状態に関する事項 4. 走路・機械各部の状態に関する事項 5. 回転・昇降可動部分の状態に関する事項 6. 電圧値・電流値の状態に関する事項 7. 油圧又は空圧装置を有するものに有っては、油又は空気の漏れ・圧力及び温度等の状態に関する事項	毎週水曜日を点検日と定め、左記事項を基準に実施
月間点検	1. 構造部関係(基礎・構造物等) 2. 軌道関係(走路・支持部材等) 3. 駆動装置及び伝動装置(電動機・伝動装置等) 4. 巻上装置(チェーンコンベア巻上装置等) 5. 安全装置(非常装置等) 6. 乗物関係(外装・構造部材等) 7. 油圧装置・空圧装置・揚水装置(油圧機・空圧機等) 8. 電気設備(受電盤・制御盤等) 9. その他の設備(乗降場・歩廊等)	毎月1回、点検日に左記事項を基準に実施
半年(法定)点検	1. 構造部関係(地盤・基礎・道床・構造物・支柱及び梁・その他) 2. 軌道関係(走路・支持部材・枕木・その他) 3. 駆動装置及び伝動装置(電動機及び制動機・軸継手・減速機等) 4. 巻上装置(チェーンコンベア巻上装置・緊張装置・主索(鎖)及び端部 5. 安全装置(非常止め装置・緩衝装置乗物逆行防止装置・その他) 6. 乗物関係(客席部外装・同構造部材・囲い・手すり・その他) 7. 油圧装置・空圧装置・揚水装置(油圧機・空圧機・機器・計器類等) 8. 電気設備(受電盤・制御盤・配線等) 9. その他の設備(乗降場・歩廊等) 10. 車軸検査及び探傷検査	法定点検として、六ヶ月に1回左記事項を基準に実施 豆汽車については、車軸検査及び探傷検査は年1回実施 ファミリーコースターについては、車軸検査を年1回及び探傷検査を年2回実施

大型遊戯施設の運行管理マニュアルの内容

別紙4

種　　類	内　　　容
・観　覧　車	1運行業務の役割分担 2始業・終業点検 3運行日誌 4利用者に対する注意事項の掲示 5運転者の遵守事項 6運行の中止等の基準 7救急体制 8事故発生時の措置 9特定行政庁への報告 10教育及び訓練
・メリーゴーランド	1運行業務の役割分担 2始業・終業点検 3運行日誌 4利用者に対する注意事項の掲示 5運転者の遵守事項 6運行の中止等の基準 7救急体制 8事故発生時の措置 9特定行政庁への報告 10教育及び訓練
・スカイサイクル	1運行業務の役割分担 2始業・終業点検 3運行日誌 4利用者に対する注意事項の掲示 5運転者の遵守事項 6運行の中止等の基準 7救急体制 8事故発生時の措置 9特定行政庁への報告 10教育及び訓練
・豆　汽　車	1運行業務の役割分担 2始業・終業点検 3運行日誌 4利用者に対する注意事項の掲示 5運転者の遵守事項 6運行の中止等の基準 7救急体制 8事故発生時の措置 9特定行政庁への報告 10教育及び訓練
・ファミリーコースター	1運行業務の役割分担 2始業・終業点検 3運行日誌 4利用者に対する注意事項の掲示 5運転者の遵守事項 6運行の中止等の基準 7救急体制 8事故発生時の措置 9特定行政庁への報告 10教育及び訓練
・コーヒーカップ	1運行業務の役割分担 2始業・終業点検 3運行日誌 4利用者に対する注意事項の掲示 5運転者の遵守事項 6運行の中止等の基準 7救急体制 8事故発生時の措置 9特定行政庁への報告 10教育及び訓練

安全訓練の概要

種　　類	内　　　　容	実施状況
朝　礼	・参加者　担当部所の責任者 ・内　容　①天候状況の確認 ②遊具の安全点検報告 ③緊急連絡の確認 ④接客の注意 ⑤トラブル対応 ⑥各部所からの報告 ⑦事務連絡	・毎日実施 ①乗り物　８：１５ ②遊　園　８：５０
安全管理委員会	・参加者　担当部所の責任者 ①安全管理に関する事項 ②緊急連絡網の整備 ③各部所での問題点解決策 ④情報の収集（天候・事故等） ⑤各部所の報告 ⑥開催行事予定・事務連絡	・毎月１回実施 （第一週の月曜日）
避難誘導訓練	・参加者　遊園職員全員対象 ・内　容　来園者の安全避難 ①ふあふあ ②観覧車 ③スカイサイクル ④メリーゴーランド ⑤豆汽車 ⑥ファミリーコースター ⑦コーヒーカップ	・年３回実施 ①夏　季　８：３０ ～　１２：００ ②秋　季　８：３０ ③冬　季　～ １２：００
防災訓練	・参加者　遊園職員全員対象 ・内　容　①応急救護 ②防災体験 ③消火訓練 ④煙体験訓練等	・年２回実施 ①春の防災週間 ②秋の防災週間
研　修	・参加者　遊園職員全員対象 ・内　容　①安全に対する認識・対応 ②接客・マナー	・年２回実施 ①９月 ②４月

A地区

荒川遊園のりもの広場ふあふあ配置図

ふあふあランド

入園口

①アスレチックハウス

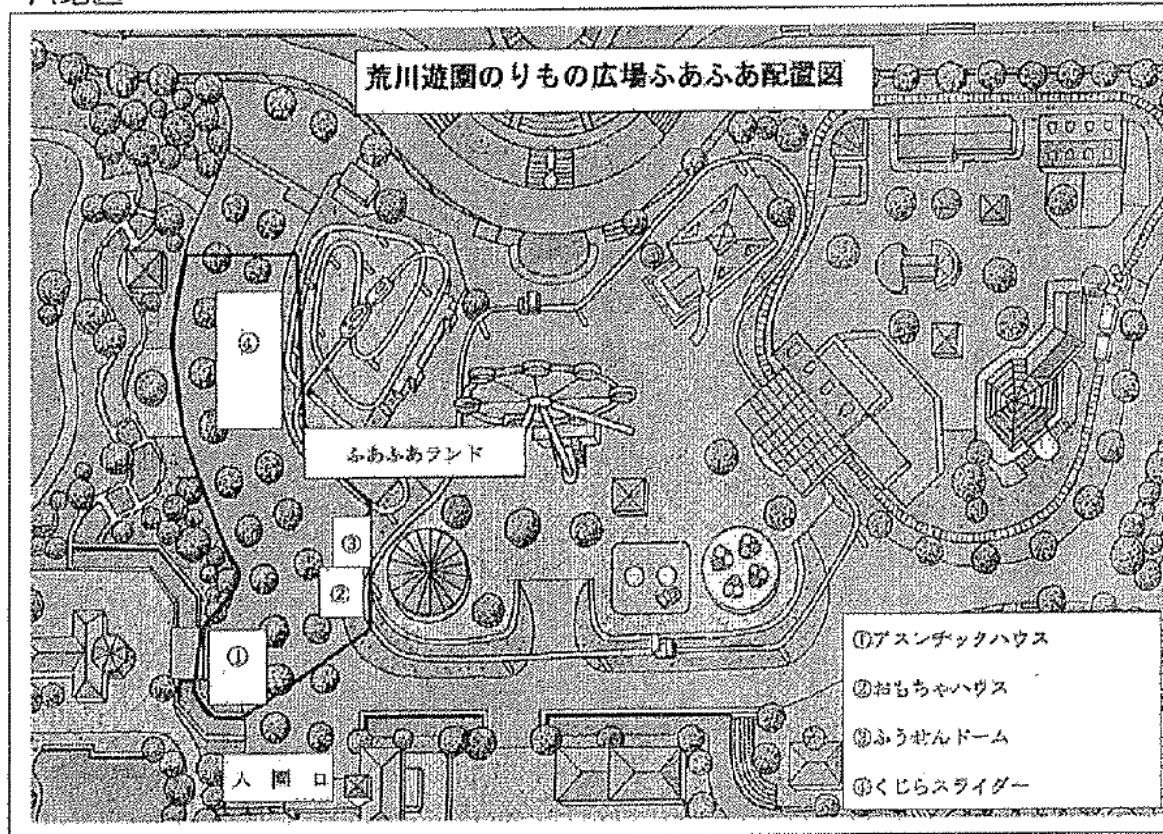
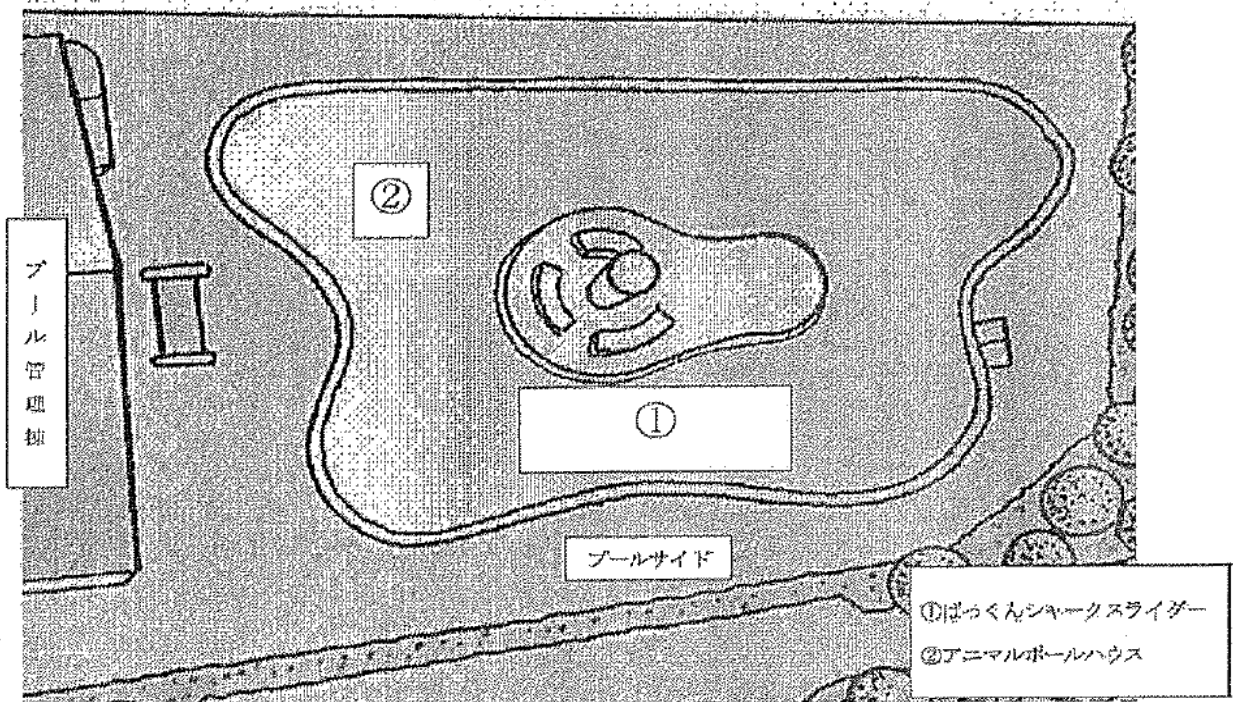
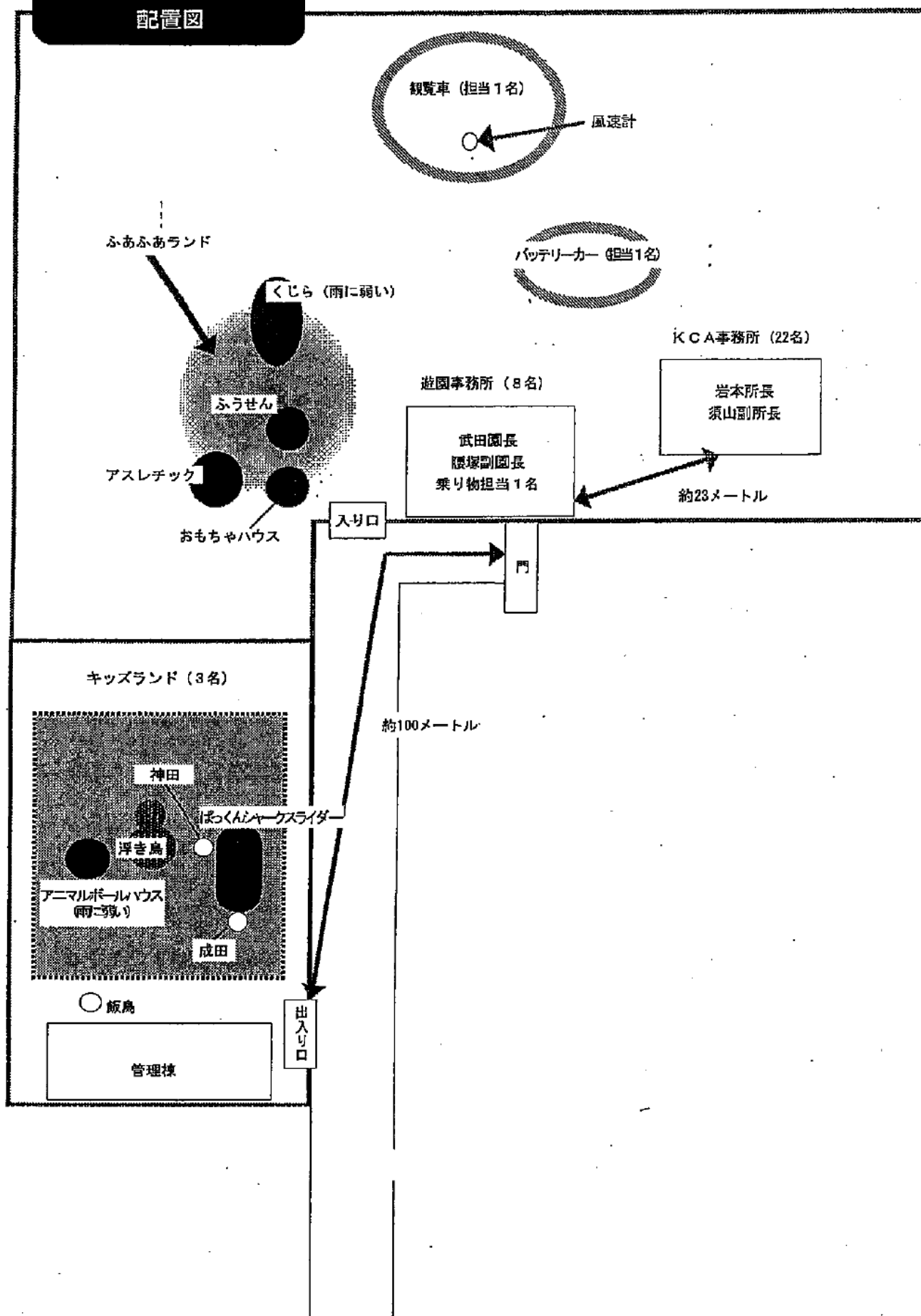
②おもちゃハウス

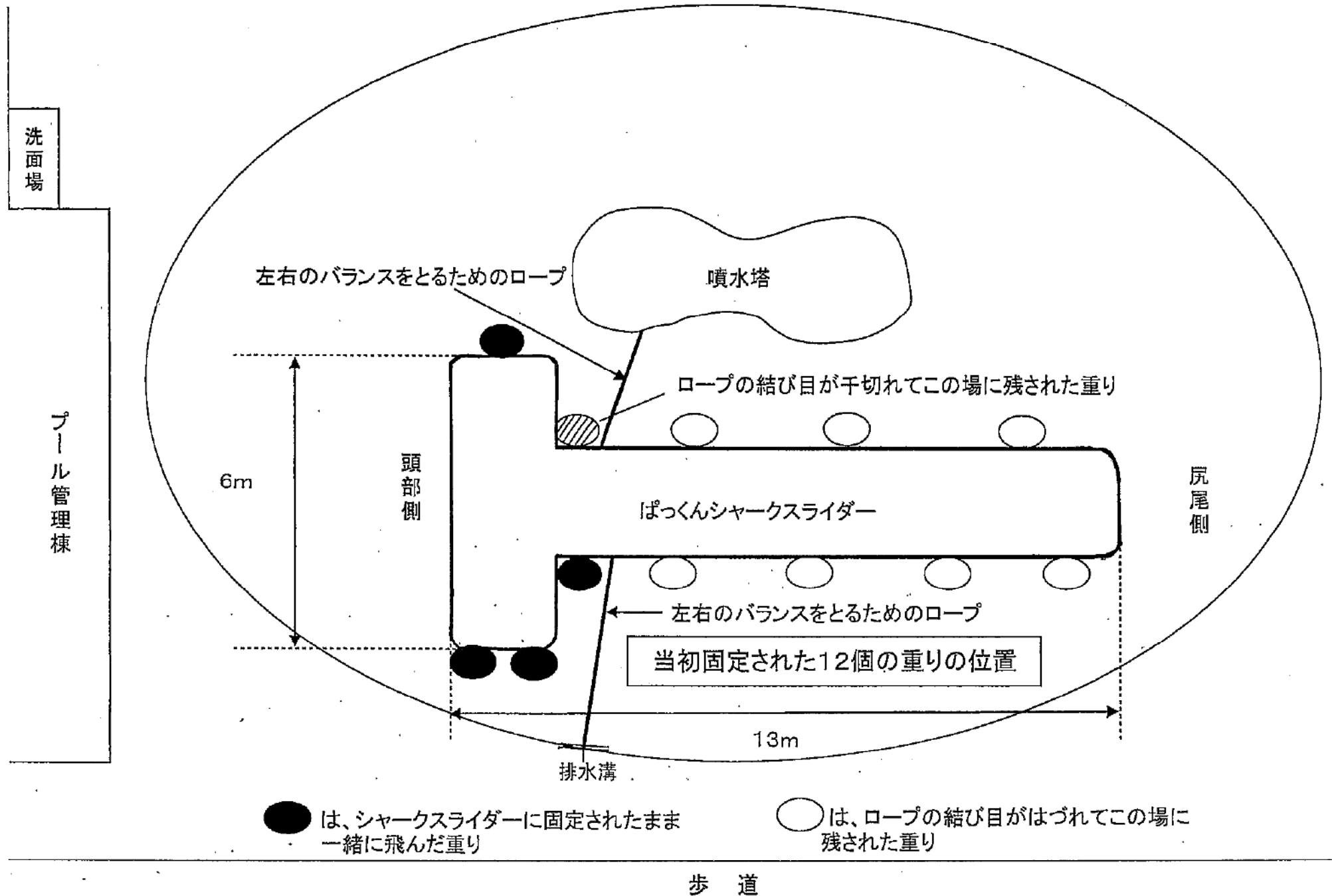
③ふうせんドーム

④くじらスライダー

キッズランドふあふあ遊具配置図

B地区

隅田川
遊園とキッズランド
配置図
観覧車（担当１名）
風速計
ふあふあランド
くじら（雨に弱い）
ふうせん
アスレチック
おもちゃハウス
バッテリーカー（担当1名）
ＫＣＡ事務所（22名）
岩本所長
須山副所長
遊園事務所（８名）
武田園長
腰塚副園長
乗り物担当１名
約23メートル
入り口
門
約100メートル
キッズランド（３名）
神田
ぱっくんシャークスライダー
浮き島
アニマルボールハウス
(雨に弱い)
成田
飯島
管理棟
出入り口

ぱっくんシャークスライダー重りの位置関係図

別紙7－2

ふあふあ遊具・小型遊具の運用マニュアル

種　類	台数	備　考
ふあふあ【園内】 くじらスライダー アスレチックハウス ふうせんドーム おもちゃハウス ふあふあ【キッズランド】 ぱっくんシャークスライダー アニマルボールハウス	4台 2台	責任者から停止・運休の連絡があった場合 外気温が30度を超えた場合、ふあふあ遊具を一斉に中止する。 強風（平均風速10m/s以上）時には、即座に営業を中止 営業日は、土・日・祭日及び春休み期間 利用時間は、9時～16時30分 運営用監視員は2名以上つける。 内部で走り回ったり危険な行為をさせない。 利用者は、履物を脱いで遊ばせる。
小型遊具（固定型）【園内】 ドラえもん他18台 小型遊具（固定型）【キッズランド】 都バス他4台	19台 5台	テストボタンを押して試運転をする。 運転中に各ボタン類の作動状態を確認する。 入口及び出口の安全を確認する。 乗車中に危険な行為をさせないよう注意する。 飲食物等を持ち込んで乗車させない。 悪天候時には運営を中止にする。 雨天後の運営は濡れたままではなく清掃する。
小型遊具（レール型）【園内】 わんぱくトレイン他2台 小型遊具（レール型）【キッズランド】 ニュー新幹線	3台 1台	電源接続部の状態を確認する。 据付状態に異常はないか確認する。 テストボタンを押して確認する。 外装、座席に亀裂、破損がないか目視で確認 硬貨セレクターの作動状態を確認する。 入口及び出口の安全を確認する。 乗車中に危険な行為をさせないよう注意する。 悪天候時には運営を中止にする。
バッテリーカー【園内】 消防車他5台 バッテリーカー【キッズランド】 ライオン他12台	6台 13台	外装、座席に亀裂、破損がないか目視で確認 ハンドルの作動状態を手触・目視で確認 タイヤに亀裂、破損がないか目視で確認 バッテリーの充電状態の確認 硬貨セレクターの作動状態を確認する。 バッテリーの通電スイッチの確認。 テストボタンを押して確認する。 走行しながら、ハンドルの状態を確認する。 コースの入口及び出口の安全を確認する。 コース外周部の安全策を確認する。 降車したお客様を速やかにコース外に誘導。 飲食物等を持ち込んで乗車させない。 悪天候時には運営を中止にする。 雨天後の運営は濡れたままではなく清掃する。
メロディーペット【園内】 パンダ他5台	6台	外装、座席に亀裂、破損がないか目視で確認 ハンドルの作動状態を手触・目視で確認。 バッテリーの充電状態の確認 バッテリーの通電スイッチの確認 テストボタンを押して確認する。 走行しながら、ハンドルの状態を確認する。 悪天候時には運営を中止にする。 雨天後の運営は濡れたままではなく清掃する。
計	59台	

くじらスライダー使用マニュアル

◆設置方法

① 突起や傾斜のない平坦な場所を選んで下さい。また屋内の場合は膨らました際に天井・照明器具等にあたらないようにご注意ください。

② 梱包を解きグランドシートから本体を取り出す。

③ 本体を向きに注意しながら広げる。

④ 送風機（　Ｎ型）の送風口を本体ダクトに差し込み、金具バンドでとめジョイントする。
（別紙図１参照）
※この時送風機の吸引口のフタを開けておいてください。
※ダクトの折れ、ねじれのないようにご注意ください。

⑤ 控えロープ用ペケットに控えロープを取り付ける。

⑥ 送風機の電源を入れ、数名で控えロープを引きながら傾かないように本体を膨らませる。この時が一番不安定な状態です。まわりの障害物にあたったり、無理な体勢にならないようご注意ください。

⑥ 本体の位置決めをし、砂袋をマット側面のペケットに取付け固定する。
また控えロープを確実に固定できるしっかりとした箇所（フェンス等）へ縛り付けてください。
※ロープを固定できる適当な箇所が無い場合は杭を地面に打ち込み、そこへ縛り付けてください。
※安全の為、この作業は必ず行なってください。（別紙図２参照）

⑦ 出入口にステップを置き、ひもでくくり付け、マジックテープでジョイントする。

⑧ 決められた箇所もしくは入口付近の見やすい位置に注意書き幕を取り付ける。

⑨ 破れやエアーの漏れがない事を確認して、使用を開始する。
※生地が破れるなどして空気漏れがあると内圧が保たれずトラブルの原因となりますのでただちに使用を止め、修理に出してください。但し構造上、生地の縫い目から常に微量のエアーは抜けています。

注意！　危険物の付近、障害物で本体が破れる恐れがある場所には設置は避けてください。

注意！　送風機は始動時に過電流が流れます。

注意！　屋外での使用の際は強風時・雨天時の使用は控えてください。

注意！　ふあふあ本体を膨らましている途中もしくは膨らみきった時に送風機の電源を切ると本体内に残ったエアーが逆流する為、送風機の羽根は逆回転しています。その状態のまま再度送風機の電源を入れても送風機は正常に回転せず所定の性能は得られません。
再度送風機の電源を入れ直す場合は一度ふあふあ本体内に残ったエアーを全て抜ききった後、送風機の逆回転が止まるのを確認した後、電源を入れふあふあ本体膨らませてください。

◆撤去方法

① ふあふあの中、周囲に人がいないか確認する。

② 控えロープをくくっていたロープの先（杭やフェンス等へくくっていた方）を解き、手に持ちます。

③ 送風機の電源を切り、ダクトのジョイントを解き、本体のエアーを抜きながら本体をしずめます。
※片側に倒れこまないように控えロープで支えながら真下に下ろす。
※膨らます時と同様、不安定な状態になります。十分注意して作業を行ってください。

④ おおよそしぼんだら残りのエアーを抜くようにたたんでゆく。（図３参照）

⑤ 本体をグランドシートの中央に置きベルトで十字に縛る。

⑥ 送風機のコードは巻いておく。

◆使用前の注意事項

① ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。そのあと大切に保管し、必要な時にお読みください。

◆使用・運営上の注意事項

① 監視員はスライダー本体入口、スライダー上の踊り場に必ず付けてください。

② 対象年齢　5歳～13歳（歳未満のお子様は保護者同伴でお願いします。）

③ 定員　8名以下　但し階段部分踊り場へ上る人数制限　3名以下

④ 履物は脱がせてください。

⑤ 手荷物を持ったり、ポケットの中に物を入れたまま、入らせないで下さい。
また身に着けているもので落としたり無くしたりする可能性のあるものは監視員または親御さんに預かってもらってください。

⑥ 走り回ったり、壁によじ登ったりさせないで下さい。また飛び込み、ハイジャンプ、空中回転など危険と思われる行為は禁止です。

⑦ 電源や送風機、コードには管理者、運営者以外近寄らせないようにしてください。

⑧ もし、電源や送風機が止まる等のトラブルがあった場合は速やかに子供を本体から出してください。

⑨ アメやガムを口の中に含んだり、飲食をしながら利用させないでください。

⑩ その他危険な行為をする子供には十分に注意してください。

⑪ ルールを守って正しく遊ばせてください。

※ 注意！　過った使用方法をされた場合の責任は負いかねます。

※ 注意！　定員は必ず守り、監視員の管理の元で使用してください。

※ 注意！　できる限り年齢の差、体格の差が大きい子供の同時入場は避けてください。

◆送風機、電気関係の注意事項

① このふあふあに使用されている送風機は公称400Wですが、定格560Wの電動機を使用しております。従ってＰＳＥ適応対象製品には入らない為ＰＳＥマークがついておりません。但し該当製品の最終検査で電気試験に合格しておりますので、製品の安全上問題はありません。

② 送風機は、落としたり強い衝撃を与えないよう取り扱いに十分ご注意下さい。

③ 電源は必ず単独電源AC100Vを使用し、電圧が落ちていないか確認して下さい。
（電圧が落ちると十分に膨らまない場合があります。）

④ 電源は消費電力に余裕があるものを使用して下さい。
（目安として送風機の消費電力の３倍の容量のあるものを使用して下さい。）

※ 注意　電源が100Vより低い場合、あるいは規定の消費電力以下の容量の電気で送風機を使い続けるとトラブルの原因になります。

※ 注意　特に立ち上げ時に過電流が流れます。

⑤ 送風機はフアフア専用です。その他の用途には絶対に使用しないで下さい。

⑥ 送風機は他の電気器具と併用しないで下さい。

⑦ 送風機の分解・改造は絶対に行わないでください。

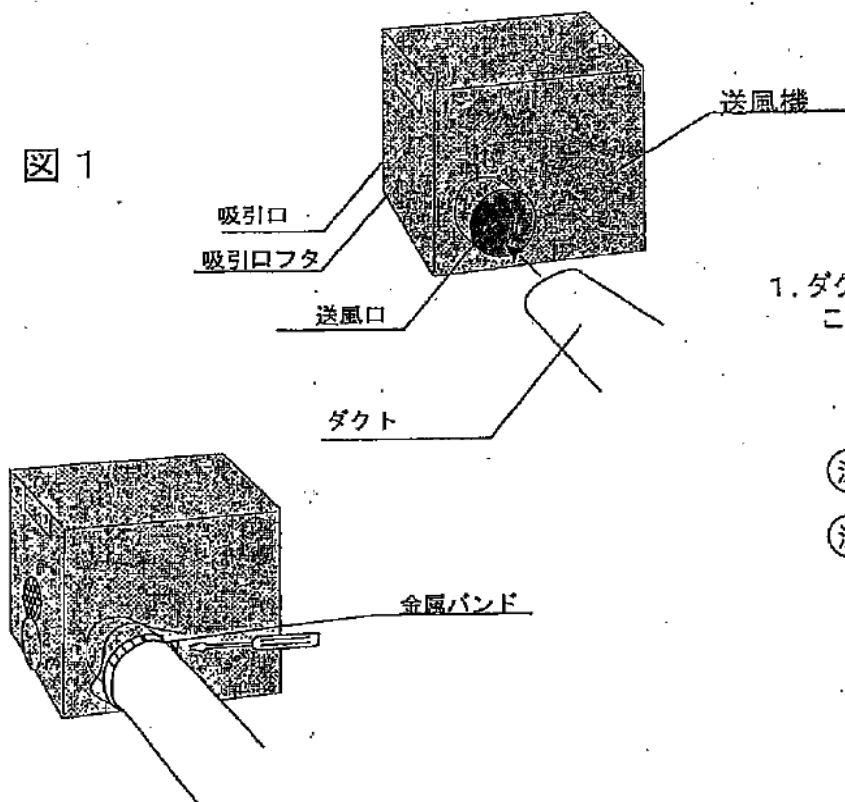
⑧ アースの接続は確実に行ってください。

⑨ 送風機やコードには一般の人が触れないように注意して下さい。
（近寄らせないよう、付近をロープで囲う等の対策をしてください。）

⑩ 送風機の吸引口に障害物や埃等が付かないように常時点検して下さい。

⑪ 送風機を逆さまにしたり、横に倒したりして使用しないで下さい。

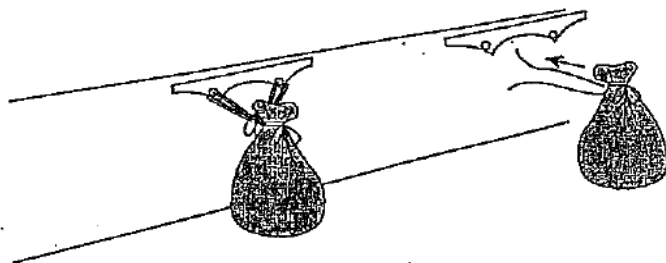
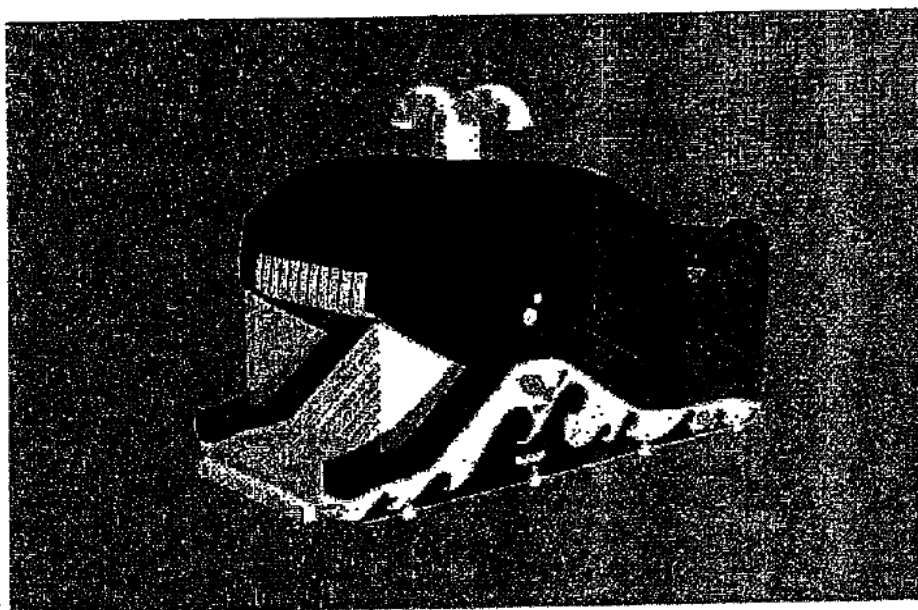
⑫ 水のかかる危険性のある場所での使用は故障の原因となりますので避けてください。

図１

１．ダクトに送風機の送風口を差し込む。
この際吸引口のフタを開けておく。

㊟ 金属バンドははずれないように
しっかりと締めてつけてください。

㊟ ダクトの折れ、ねじれの無いよう
注意してください。折れねじれが
あると本体に十分な内圧が得られ
なくなります。

２．金属バンドをし、ドライバーで締めつける。

図２

マット側面のペケットにロープを縛り固定する。

※　フェンス等、固定できるところに結び付ける。
結びつける箇所が無い場合は杭を打ちつけ、しっかりと固定する

◆保管上の注意事項

① 汚れ、埃等は、水拭きまたは中性洗剤で拭き取ってください。
シンナーは使用しないでください。また硬いタワシ、ブラシ等で擦らないでください。
表面のコーティングがはがれる恐れがあります。

② かならずシートに包んで保管してください。

③ 濡れた場合は必ず十分乾かしてから保管してください。
（濡れたまま置いておくと、かび、生地の劣化の原因になります。）

④ 直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

⑤ もし、本体が破れたり穴が開いたりした場合は早めに修理に出してください。

◆保証について

保証期間は以下の事項に基づき、納入日より1年間です。

1．取扱説明書にしたがった正常な使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合は製造工場にて故障箇所を無償で修理させて頂きます。

2．保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、販売元までご連絡ください。

3．本保証は原則的に当社（製造元）の製造不良による故障を保証するものであり、保証期間内でも次の場合は有償となります。

① 本書（取扱説明書）のご提示がない場合。

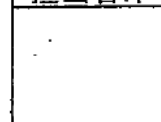
② 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。

③ 火災・公害・異常電圧、および地震・雷・風水害・その他、天災地変など外部に原因がある故障および損傷。

④ 故意、または、消耗による故障および損傷。

⑤ 納入年月日、および、担当者印なきものは無効。

納入年月日　平成　19年　10月　25日

担当者印

※その他不明な点は弊社担当者まで御連絡下さい。

アスレチックハウス使用マニュアル

・設置方法

- 突起や傾斜のない平坦な場所を選んで下さい。
- 梱包を解いて、グランドシート（収納シート）を広げる。
- 本体をグランドシートからはみ出さないよう向きに注意しながら広げる。
- 送風機(PT-5) の送風口に ダクトを差し込み、
  金具バンドでとめジョイントする。（図１参照）
- ※ダクトの折れ、ねじれのないように注意！
- 四隅の柱上部にあるベケットに、控え用ロープを取付けます。
- 送風機の電源を入れ、本体を膨らませる。（この時吸引口のフタが開いているか確認してください。）

※送風機は始動時に過電流が流れます。

- グランドシートからはみ出さない範囲で位置決めをし、砂袋をマット側面に取付け固定する。また、・で付けておいた、控えロープを固定できる場所にくくりつける。

※安全の為、この作業は必ず行なってください。（図2参照）

- 出入口に階段を置き、ひもでくくり付ける。
- 入口付近に注意書き幕を取り付ける。
- ボールプール内にウレタンステップを取り付ける。
- ボールプールにボールを入れる。
- 破れやエアーの漏れがない事を確認して、使用を開始する。

※構造上、生地の縫い目から常に微量のエアーは抜けています。

㊟ 危険物の付近、障害物で本体が破れる恐れがある場所には設置は避けてください。

㊟ 屋外の場合、強風時、雨天等の悪天候時の設置は避けてください。

・撤去方法

- 控え用ロープをはずし、ボールを取り出し、砂袋、階段、ウレタンステップをはずす。
- 本体の送風機の電源を抜き、ダクトのジョイントを解き本体のエアーを抜きます。

※膨らます時と同様、不安定な状態になります。十分注意して作業を行ってください。

- おおよそしぼんだら残りのエアーを抜くようにたたんでゆく。（図３参照）
- 本体がたためたら、グランドシート（収納シート）の中央に置き、シートを包み込んでいく。
- 本体をシートの上からロープで十字に縛る。
- 送風機のコードは巻いておく。

・使用上の注意事項

- ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。そのあと大切に保管し、必要な時にお読みください。

・使用上の注意事項

- 監視員は必ず付けてください。
- 対象年齢　　３～１０才
- 定員　　20名以下
- 履物は脱がせてください。
- 手荷物を持ったり、ポケットの中に物を入れたまま、入らせないで下さい。
- 走り回ったり、壁によじ登ったりさせないで下さい。
- 電源や送風機、コードには子供を近寄らせないようにしてください。
- もし、電源や送風機が止まる等のトラブルがあった場合は速やかに子供を本体から出させてください。
- 飲食物を持って入らせないで下さい。
- その他危険な行為をする子供には十分に注意してください。

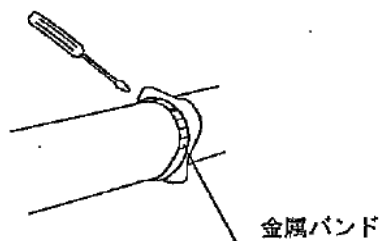
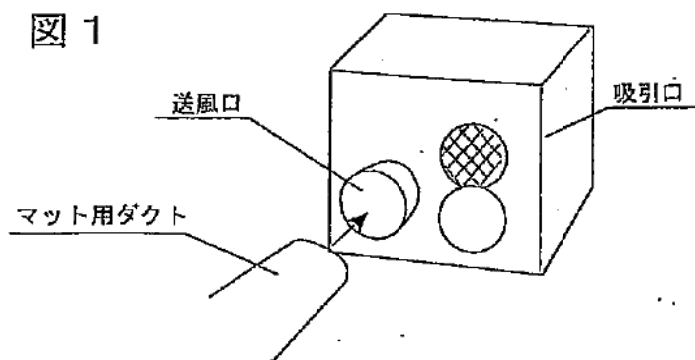
㊟ 過った使用方法をされた場合の責任は負いかねます。
㊟ 野外の場合、強風時、雨等の悪天候時の使用は避けてください。
㊟ 年齢の差、体格の差が大きい子供の同時入場は避けてください。

・送風機、電気関係の注意事項

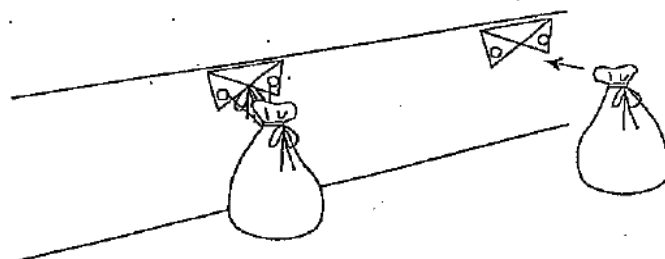
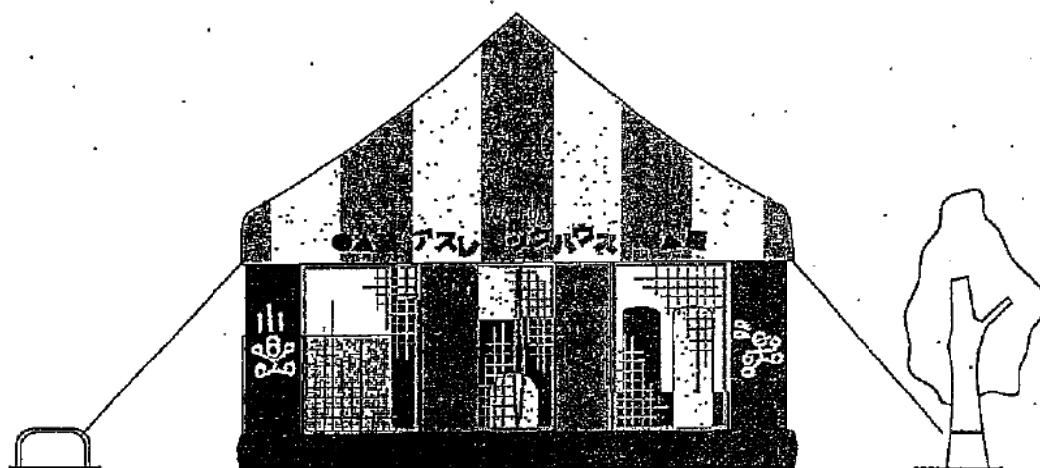
- 電源は必ず単独電源AC100Vを使用し、電源が落ちていないか確認して下さい。（電源が落ちると十分に膨らまない場合があります。）
- 電源は消費電力に余裕があるものを使用して下さい。（目安として送風機の消費電力の３倍の容量のあるものを使用して下さい。）

㊟ 電源が100Vより低い場合、あるいは規定の消費電力以下の容量の電気で送風機を使い続けるとトラブルの原因になります。
㊟ 特に立ち上げ時に過電流が流れます。

- この送風機はフアフア専用です。その他の用途には絶対に使用しないで下さい。
- 送風機は他の電気器具と絶対に併用しないで下さい。
- 送風機やコードには一般の人が触れないように注意して下さい。（近寄らせないよう、付近をロープで囲う等）
- 送風機の吸引口に障害物や埃等が付かないように常時点検して下さい
- 送風機を逆さまにしたり、横に倒したりして使用しないで下さい。
- 長時間の雨の中での使用や水をかけたりするのは、故障の原因になりますので絶対に避けて下さい。
- タコ足配線はしないで下さい。（電圧が落ちます）
- コードリールを使用する場合はコードを巻いたまま使用しないで下さい。（熱を持ち危険）
- 送風機は50・/60・兼用です。（※但し、50・地域では60・地域に比べ、若干圧力は落ちます。）

図 1

※ドライバーで金属バンドを締める。

㊟ 金属バンドははずれないようにしっかりと締めてください。
㊟ ダクトの折れ、ねじれの無いよう注意してください。

図 2

マット側面のペケットにロープを縛り固定する。

※ フェンス等、固定できるところに結び付ける。

・保管上の注意事項

- 泥汚れ、埃等は、水拭きまたは中性洗剤で拭き取ってください。

㊟ シンナー及び研磨剤入りの洗剤を使用すると色落ちの原因となりますのでご注意ください。

- かならずシートに包んで保管してください。
- 雨等で濡れた場合は必ず十分乾かしてから保管してください。
（濡れたまま置いておくと、かび、生地の劣化の原因になります。）
- 直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。
- もし、本体が破れたり穴が開いたりした場合は早めに修理に出してください。

※その他不明な点は弊社担当者まで御連絡下さい。

ふうせんドーム使用マニュアル

◆設置方法

① 突起や傾斜のない平坦な場所を選んで下さい。

② 梱包を解いて、グランドシート（収納シート）を広げる。

③ 本体をグランドシートからはみ出さないよう向きに注意しながら広げる。

④ 送風機(N-5)の送風口にダクトを差し込み、金具バンドでとめジョイントする。
※この時、送風機の吸引口のフタが開いているか確認して下さい。
※ダクトの折れ、ねじれのないように注意！折れ、ねじれが有ると十分に風が吹き出しません。
※なかなか膨らまない場合は本体てっぺんの内圧調整弁のフタを少し締めて、内圧を調整して下さい。

㊟ フタを締めすぎると内圧が上がりすぎて、マットが反り返るので注意して下さい。

⑤ 送風機の電源を入れ、本体を膨らませる。

⑥ 本体が膨らんだら、位置を決め、動かないように砂袋を取り付け、固定する。

⑦ 注意書き幕を取り付ける。

⑧ 本体内に風船を入れ、使用を開始する。

※ 中に入れる風船の目安として30～40個が適当です。
あまり多く入れ過ぎると、風船が回らなくなることがあります。

※ 使用する風船は規定のもの、もしくは厚手のものを使って下さい。

◆撤去方法

① 本体内の風船を外に出す。

② 砂袋を外す。

③ 電源を落とし、送風機とダクトの接続を解き、エアーを抜く。

④ おおよそしぼんだら残りのエアーを抜くようにたたんでゆく。

⑤ 本体がたためたら、グランドシート（収納シート）の中央に置き、シートで包み込んでいく。

⑥ シートで包み終わったらロープで十字に縛る。

⑦ 送風機のコードは巻いておく。

・使用上の注意事項

- 監視員は必ず付けてください。
- 対象年齢　　１２才以下
- 定員　　６名以下
- 履物は脱がせてください。
- 手荷物を持ったり、ポケットの中に物を入れたまま、入らせないで下さい。
- 走り回ったり、壁にもたれたりしないで下さい。
- 電源や送風機、コードには子供を近寄らせないようにしてください。
- もし、電源や送風機が止まる等のトラブルがあった場合は速やかに子供を本体から出させてください。
- 飲食物を持って入らせないで下さい。
- その他危険な行為をする子供には十分に注意してください。

㊟ 過った使用方法をされた場合の責任は負いかねます。

㊟ 本商品は原則的に屋内用です。野外での使用は避けて下さい。

㊟ 乾燥した室内や冬場は特に静電気の発生により、風船どうしがくっついたり、破れたりしやすくなることがあります。その際は付属の霧吹きで風船を湿らせると静電気がおきにくくなります。

・送風機、電気関係の注意事項

- 電源は必ず単独電源AC100Vを使用し、電源が落ちていないか確認して下さい。
  (電源が落ちると十分に膨らまない場合があります。)
- 電源は消費電力に余裕があるものを使用して下さい。
  (目安として送風機の消費電力の３倍の容量のあるものを使用して下さい。)

※ ㊟ 電源が100Vより低い場合、あるいは規定の消費電力以下の容量の電気で送風機を使い続けるとトラブルの原因になります。

※ ㊟ 特に立ち上げ時に過電流が流れます。

- この送風機はフアフア専用です。その他の用途には絶対に使用しないで下さい。
- 送風機は他の電気器具と絶対に併用しないで下さい。
- 送風機やコードには一般の人が触れないように注意して下さい。
  (近寄らせないよう、付近をロープで囲う等)
- 送風機の吸引口に障害物や埃等が付かないように常時点検して下さい
- 送風機を逆さまにしたり、横に倒したりして使用しないで下さい。
- 長時間の雨の中での使用や水をかけたりするのは、故障の原因になりますので絶対に避けて下さい。
- タコ足配線はしないで下さい。(電圧が落ちます)
- コードリールを使用する場合はコードを巻いたまま使用しないで下さい。
  (熱を持ち危険)

・保管上の注意事項

・　汚れ、埃等は、水拭きまたは中性洗剤で拭き取ってください。

・　かならずシートに包んで保管してください。

・　濡れた場合は必ず十分乾かしてから保管してください。
（濡れたまま置いておくと、かび、生地の劣化の原因になります。）

・　直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

・　もし、本体が破れたり穴が開いたりした場合は早めに修理に出してください。
破れたまま使用されるとトラブルの原因になります。

・保証について

保証期間は、納入日より半年間です。

1．　取扱説明書の注意書きにしたがった正常な使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合は故障箇所を無料で修理させて頂きます。

2．　保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、販売元までご連絡ください。

3．　本保証は原則的に当社（製造元）の製造不良による故障するものであり、保証期間内でも次の場合は有料となります。

・　本書（取扱説明書）のご提示がない場合。

・　使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。

・　火災・公害・異常電圧、および地震・雷・風水害・その他、天災地変など外部に原因がある故障および損傷。

・　故意、または、消耗による故障および損傷。

・　納入年月日、および、担当者印なきものは無効。

納入年月日　　　年　　月　　日

担当者印

※その他不明な点は弊社担当者まで御連絡下さい。

おもちゃハウス使用マニュアル

・設置方法

- 突起や傾斜のない平坦な場所を選んで下さい。
- 梱包を解いて、グランドシート（収納シート）を広げる。
- 本体をグランドシートからはみ出さないよう向きに注意しながら広げる。
- 送風機(N-5）の送風口に　ダクトを差し込み、
  金具バンドでとめジョイントする。（図１参照）

  ※ダクトの折れ、ねじれのないように注意！
  ※マットには、2ケ所ダクトが付いています。
  送風機は、どちらのダクトに接続しても構いませんが、接続しないダクトはエアーが漏れないようしっかりと口を縛っておいてください。（図２参照）
- 送風機の電源を入れ、本体を膨らませる。（この時吸引口のフタが開いているか確認してください。）

※送風機は始動時に過電流が流れます。

- グランドシートからはみ出さない範囲で位置決めをし、砂袋をマット側面に取付け固定する。

※安全の為、この作業は必ず行なってください。（図３参照）

- 出入口に階段を置き、ひもでくくり付ける。
- 入口付近に注意書き幕を取り付ける。
- 破れやエアーの漏れがない事を確認して、使用を開始する。

※生地が破れるなどして、空気漏れがあると内圧が保たれずトラブルの原因となりますのでただちに使用を止め、修理に出してください。

※構造上、生地の縫い目から常に微量のエアーは抜けています。

㊟ 危険物の付近、障害物で本体が破れる恐れがある場所には設置は避けてください。

㊟ 屋外の場合、強風時、雨天等の悪天候時は怪我や故障の原因になりますので使用を控えて下さい。

・撤去方法

- 控え用ロープをはずし、砂袋、階段をはずす。
- 送風機の電源をおとし、ダクトのジョイントを解き本体のエアーを抜きます。

※膨らます時と同様、不安定な状態になります。十分注意して作業を行ってください。

- おおよそしぼんだら残りのエアーを抜くようにたたんでゆく。（図４参照）
- 本体がたためたら、グランドシート（収納シート）の中央に置き、シートを包み込んでいく。
- 本体をシートの上からロープで十字に縛る。
- 送風機のコードは巻いておく。

・使用前の注意事項

・ ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。そのあと大切に保管し、必要な時にお読みください。

・使用上の注意事項

・ 監視員は必ず付けてください。
・ 対象年齢　３～１０才
・ 定員　１０名以下
・ 履物は脱がせてください。
・ 手荷物を持ったり、ポケットの中に物を入れたまま、入らせないで下さい。
・ 走り回ったり、壁によじ登ったりさせないで下さい。
・ 電源や送風機、コードには子供を近寄らせないようにしてください。
・ もし、電源や送風機が止まる等のトラブルがあった場合は速やかに子供を本体から出させてください。
・ 飲食物を持って入らせないで下さい。
・ その他危険な行為をする子供には十分に注意してください。

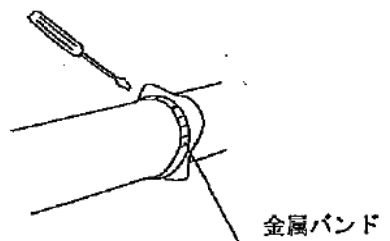
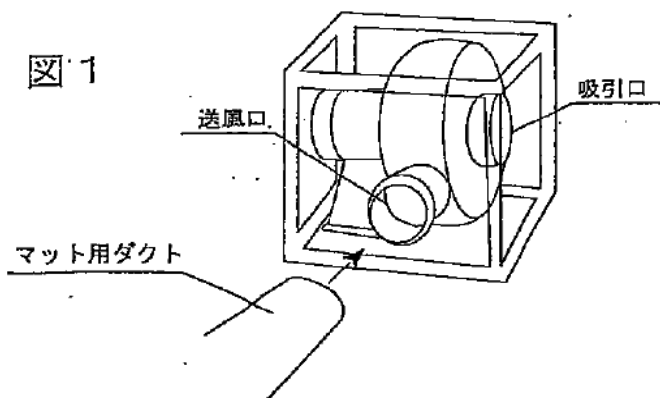
※ ㊟ 過った使用方法をされた場合の責任は負いかねます。
※ ㊟ 野外での使用の場合は、強風時、雨等の悪天候時の使用は避けてください。
※ ㊟ 年齢の差、体格の差が大きい子供の同時入場は避けてください。

・送風機、電気関係の注意事項

・ 送風機は、落としたり強い衝撃を与えないよう取り扱いに十分ご注意下さい。
・ 電源は必ず単独電源AC100Vを使用し、電源が落ちないか確認して下さい。（電源が落ちると十分に膨らまない場合があります。）
・ 電源は消費電力に余裕があるものを使用して下さい。（目安として送風機の消費電力の３倍の容量のあるものを使用して下さい。）

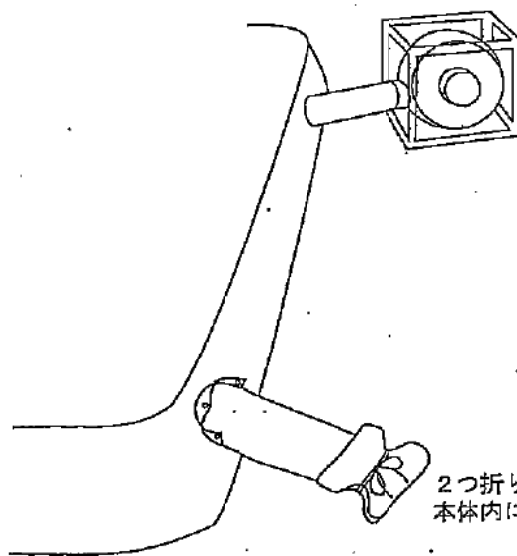
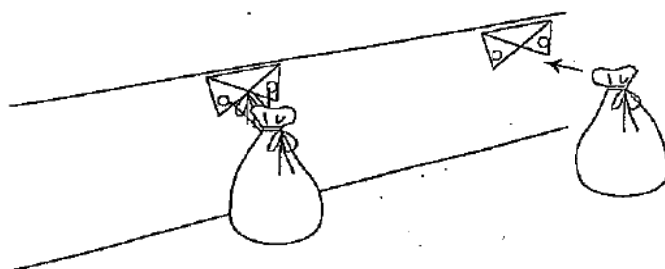
※ ㊟ 電源が100Vより低い場合、あるいは規定の消費電力以下の容量の電気で送風機を使い続けるとトラブルの原因になります。
※ ㊟ 特に立ち上げ時に過電流が流れます。

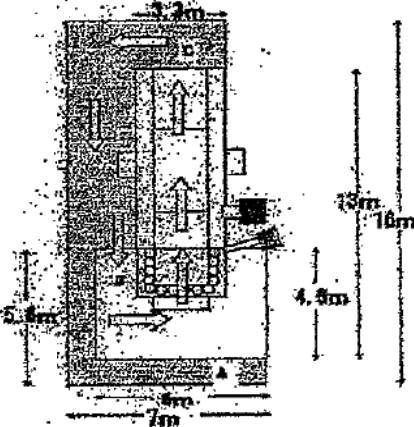
・ 送風機は他の電気器具と併用しないで下さい。
・ 送風機やコードには一般の人が触れないように注意して下さい。（近寄らせないよう、付近をロープで囲う等）
・ 送風機の吸引口に障害物や埃等が付かないように常時点検して下さい。
・ 送風機を逆さまにしたり、横に倒したりして使用しないで下さい。
・ 長時間の雨の中での使用や水をかけたりするのは、故障の原因になりますので絶対に避けて下さい。
・ タコ足配線はしないで下さい。（電圧が落ちます）
・ コードリールを使用する場合はコードを巻いたまま使用しないで下さい。（熱を持ち危険）

図1

※ドライバーで金属バンドを締める。

㊟ 金属バンドははずれないようにしっかりと締めてください。
㊟ ダクトの折れ、ねじれの無いよう注意してください。

図2

図3

マット側面のベケットにロープを縛り固定する。

・保管上の注意事項

・　泥汚れ、埃等は、水拭きまたは中性洗剤で拭き取ってください。

※　㊟　シンナー及び研磨剤入りの洗剤を使用すると色落ちの原因となりますのでご注意ください。

・　かならずシートに包んで保管してください。

・　雨等で濡れた場合は必ず十分乾かしてから保管してください。
（濡れたまま置いておくと、かび、生地の劣化の原因になります。）

・　直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

・　もし、本体が破れたり穴が開いたりした場合は早めに修理に出してください。

※その他不明な点は弊社担当者まで御連絡下さい。

ぱっくんシャークスライダー

対象年齢	5才～12才	プレイ時間	3～5分
キャパシティー	15名／1回(幼児) ◆体の大きい子が入った時は 1名を2名として計算する	本体サイズ	幅6m×奥行12m×高5m
		種別	エアースライダー(開閉型)
本体写真		配置図	

進行(A,B,C)	
	・口を開ける。(B)
	・靴を脱がせ荷物も一緒に置いてから、入口へ誘導する。(A, B)
	・ストップウォッチ始動。(A)
	・一人一人押さないようゆっくり口を登らせる。(B)
	・一人一人足から滑らせる。ジャンプさせない。(C)
	・すべり台を滑り終えた子どもを再び入口に誘導する。(A, C)
	・次回のお客様を待機スペースに入れ待機させる。(A)
	・終了の合図で口を閉める。(B)
	・終了時間になったら、一人ずつ靴を履かせ出口へ誘導する。(A, B)

注意事項	
	・小さい子どもや登れない子どもの手助けをする。(押し合ったりする原因になる為)
	・口の横から落ちないように注意する。
	・口の下のマットで遊ばせない。
	・滑り台は必ず足から滑らせる。頭からやお腹では、滑らせない。
	・滑り終わった子どもをすぐに滑走部から退ける。
	・1箇所に滞留させないよう、声かけする。
	・怪我人発生、天候判断については主催者との取り決めに従う。

INFLATABLE 使用方法・取扱説明書

＜運営上の注意事項＞

①風が強い日で、本体やオモリが動いてしまう場合は、即座に運営を中止してください。

②雨天時はもちろんのこと、運営途中で雨が降ってきた場合は、運営を中止してください。
遊んでいるお子様が濡れてしまいますし、特にスライダー部分が普通より滑るようになり、危険を伴う場合があります。また、早めに本体にシートを被せないと、本体を乾かすのに時間がかかります。

③送風機(ブロアー)は、本体の裏側にあり、運営中はなかなか管理の行き届かない場合ですので、あらかじめフェンス等で囲い、定期的に様子を見に行って下さい。

④エアートランポリン部分に運営スタッフを配置して下さい。エアートランポリン部分はスペースが広く、宙返りなどの危険な行為をさせないための監視と、スライダーの階段部分をなかなか登れないお子様の手助けをするのに、最低1名程度スタッフを配置して下さい。

⑤遊ぶお子様の年齢制限は、5～12歳(小学6年生)を目安に、15名くらいを基準にして遊ばせて下さい。また、出来るだけ年齢差や体格差のないお子様同士で遊ばせるよう調整しながら運営して下さい。(どうしても難しい場合は、定員人数を減らして無理のないよう運営して下さい。)

⑥遊戯時間は、混雑時では総入れ替え制で1回3～5分を目安に遊ばせて下さい。それほど混雑していないときは自由に遊ばせても構いませんが、混雑してきたら最後に入場したお子様から時間を計るようにしておくと、次の入れ替えがスムーズに行えます。

⑦1人でも多くお子様に遊んで頂くために、自力で遊べるお子様を対象に遊ばせてください。また、付き添う(保護者)の方の入場については、例外を除いて基本的にお断りして下さい。

※定員人数から、付き添いの方が入った分だけお子様の人数を減らして遊ばせる形になりますので、入れ替えの回転率が悪くなり、待ち時間もその分お客様に待ってもらうようになります。

⑧身体の不自由なお子様や障害を持っているお子様で、運営スタッフで対応が出来ないと判断したら、特例として付き添い(保護者)の方を同伴させて一緒に遊んでもらうといった対応を取って下さい。

⑨何度注意しても言うことを聞かないお客様に対しては、怪我や子供同士のケンカなどの原因につながりますので、あらかじめ注意する回数を決めておいて、その回数を超えたら退場させることをお薦めします。

※3分間での入れ替え制の場合、2～3回目の注意で退場させることが多いです。

(株)コミヤスポーツセンター

アニマルボールハウス使用マニュアル

◆設置方法

① 突起や傾斜のない平坦な場所を選んで下さい。また屋内の場合は膨らました際に天井・照明器具等にあたらないようにご注意ください。
② 梱包を解き、グランドシート(収納シート)を広げます。
③ 本体をグランドシートからはみ出さないように向きに注意しながら広げます。
④ 送風機(PT-5型) の送風口を本体ダクトに差し込み、金具バンドでとめジョイントします。
(別紙図１参照)
※この時送風機の吸引口のフタを開けておいてください。
※ダクトの折れ、ねじれのないようにご注意ください。
※マットには２ヶ所ダクトが付いています。送風機はどのダクトに接続しても構いませんが、接続しないダクトはエアーが漏れないようしっかりと口を縛り、マットの中に仕舞っておいてください。
(別紙図２参照)
⑤ 送風機の電源を入れ、傾かないように本体を膨らませます。
※この時が一番不安定な状態です。まわりの障害物にあたったり、無理な体勢にならないようご注意ください。
※送風機は始動時に過電流が流れます。送風機を２台以上使用するタイプの場合は若干電源を入れる間隔を空けてください。
⑥ 本体の位置決めをし、砂袋をマット側面のペケットに取付け固定します。
※安全の為、この作業は必ず行なってください。(別紙図３参照)
⑦ 出入口にステップを置き、ひもでくくり付け、マジックテープでジョイントします。
⑧ ボールを中に入れます。
⑨ 決められた箇所もしくは入口付近の見やすい位置に注意書き幕を取り付けます。
⑩ 破れやエアーの漏れがない事を確認して、使用を開始します。
※生地が破れるなどして空気漏れがあると、内圧が保たれずトラブルの原因となりますのでただちに使用を止め、修理に出してください。但し構造上、生地の縫い目から常に微量のエアーは抜けています。

注意！　危険物の付近、障害物で本体が破れる恐れがある場所には設置は避けてください。
注意！　送風機は始動時に過電流が流れます。
注意！　屋外での使用の際は強風時・雨天時の使用は控えてください。
注意！　ふあふあ本体を膨らましている途中もしくは膨らみきった時に送風機の電源を切ると本体内に残ったエアーが逆流する為、送風機の羽根は逆回転しています。その状態のまま再度送風機の電源を入れても送風機は正常に回転せず所定の性能は得られません。
再度送風機の電源を入れ直す場合は一度ふあふあ本体内に残ったエアーを全て抜ききった後、送風機の逆回転が止まるのを確認した後、電源を入れふあふあ本体膨らませてください。

◆撤去方法

① ふあふあの中、周囲に人がいないか確認します。
② ボールを納品時のケースへ収納し、砂袋、階段をはずします。
③ 送風機の電源を切り、ダクトのジョイントを解き、本体のエアーを抜きながら本体をしずめます。
※膨らます時と同様、不安定な状態になります。十分注意して作業を行ってください。
⑤ おおよそしぼんだら残りのエアーを抜くようにたたんでゆきます。(別紙図４参照)
⑥ 本体がたためたら、グランドシートの中央に置いてシートで包み込みます。
⑦ シートで包み終わったら、ベルトで十字に縛ります。
⑧ 送風機のコードは巻いておきます。

◆使用前の注意事項

ご使用前に必ず、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。そのあと大切に保管し、必要な時にお読みください。また運営管理される方は下記注意事項を読み、よくご理解いただいた後ご使用ください。

◆使用・運営上の注意事項

① 監視員は本体入口に必ず付けて、注意書き幕・取扱説明書の内容に従いルールを守って遊ばせてください。
② 注意書き幕が入口の見えやすい位置にきちんと取り付いているかご確認ください。
③ 対象年齢　　３歳～１０歳
④ 定員　　　　５名以下
⑤ 履物は脱がせ、靴下をはかせてください。
⑥ 手荷物を持ったり、ポケットの中に物を入れたまま、入らせないで下さい。また、身に着けているもので落としたり無くしたりする可能性のあるものは監視員または保護者に預かってもらってください。
⑦ 走り回ったり、壁やネットによじ登ったりさせないで下さい。また、ハイジャンプ、空中回転など危険と思われる行為は禁止です。その都度適切にご注意ください。
⑧ 電源や送風機、コードには管理者、運営者以外近寄らせないようにしてください。
⑨ もし、電源や送風機が止まる等のトラブルがあった場合は速やかに子供を非難させてください。
⑩ アメやガムを口の中に含んだり、飲食をしながら利用させないでください。
⑪ 子供の気分が優れないときには利用させないでください。
⑫ ルールを守って正しく遊ばせてください。ルールを守らないお客様、危険な行為をされるお客様、まわりのお客様に迷惑となるお客様には、トラブルにならないようにその都度適切な注意・指導をしてください。

※　注意！　過った使用方法をされた場合、また注意事項を守れない状態、あるいは利用者がルールを守らない状態をそのまま放置されている状況下で発生した事故の責任は負いかねます。
※　注意！　野外での使用の場合は、強風時、雨等の悪天候時の使用は避けてください。
※　注意！　年齢の差、体格の差が大きい子供の同時入場はできるだけ避けてください。やむを得ず同時に入場させる場合は小さなお子様の周囲では遊ばせないようにご指示ください。

◆送風機、電気関係の注意事項

① このふあふあに使用されている送風機は公称400Wですが、定格560Wの電動機を使用しております。従ってＰＳＥ適応対象製品には入らない為ＰＳＥマークがついておりません。但し該当製品の最終検査で電気試験に合格しておりますので、製品の安全上問題はありません。
② 送風機は、落としたり強い衝撃を与えないよう取り扱いに十分ご注意下さい。
③ 電源は必ず単独電源AC100Vを使用し、電圧が落ちていないか確認して下さい。またアース接続を確実に行ってください。（電圧が落ちると十分に膨らまない場合があります。）
④ 電源は消費電力に余裕があるものを使用して下さい。（目安として送風機の消費電力の３倍の容量のあるものを使用して下さい。）
　※　注意　電源が100Vより低い場合、あるいは規定の消費電力以下の容量の電気で送風機を使い続けるとトラブルの原因になります。
　※　注意　特に立ち上げ時に過電流が流れます。
⑤ 送風機はフアフア専用です。その他の用途には絶対に使用しないで下さい。
⑥ 送風機は他の電気器具と併用しないで下さい。
⑦ 送風機の分解・改造は絶対に行わないでください。
⑧ 送風機やコードには一般の人が触れないように注意して下さい。（近寄らせないよう、付近をロープで囲う等の対策をしてください。）
⑨ 送風機の吸引口に障害物やホコリ等が付かないように常時点検して下さい。
⑩ 送風機を逆さまにしたり、横に倒したりして使用しないで下さい。
⑪ 雨天時の使用や大量の水のかかる危険性のある場所での使用は故障の原因となります。
⑫ 屋外でコードリールを使用する場合は、定格電流電圧にあったものを使用し、必ず屋外型を使用してください。またコードを巻いたまま使用しないでください。（熱を持ち危険です。）
⑬ この送風機は50/60Ｈｚ兼用です。（但し５０Ｈｚ地域では６０Ｈｚ地域に比べ若干圧力は落ちます。）

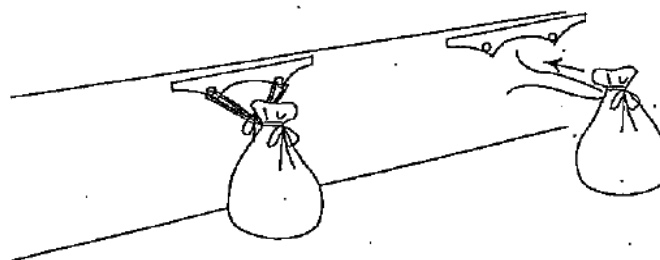
図１

１．ダクトに送風機の送風口を差し込む。
　この際吸引口のフタを開けておく。

㊟ 金属バンドははずれないように
しっかりと締めてつけてください。
㊟ ダクトの折れ、ねじれの無いよう
注意してください。折れねじれが
あると本体に十分な内圧が得られ
なくなります。

２．金属バンドをし、ドライバーで締めつける。

図２

図３

マット側面のペケットにロープを縛り固定する。

◆保管上の注意事項

① 汚れ、埃等は、水拭きまたは中性洗剤で拭き取ってください。
※シンナーは使用しないでください。また硬いタワシ、ブラシ等で擦らないでください。
表面のコーティングがはがれる恐れがあります。

② かならずシートに包んで保管してください。

③ 濡れた場合は必ず十分乾かしてから保管してください。
（濡れたまま置いておくと、かび、生地の劣化の原因になります。）

④ 直射日光の当たらない乾燥した場所に保管してください。

⑤ もし、本体が破れたり穴が開いたりした場合は早めに修理に出してください。

◆保証について

保証期間は以下の事項に基づき、納入日より1年間です。

１． 取扱説明書にしたがった正常な使用状態のもとで保証期間内に万一故障した場合は製造工場にて故障箇所を無償で修理させて頂きます。

２． 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合は、販売元までご連絡ください。

３． 本保証は原則的に当社（製造元）の製造不良による故障を保証するものであり、保証期間内でも次の場合は有償となります。

① 本書（取扱説明書）のご提示がない場合。

② 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。

③ 火災・公害・異常電圧、および地震・雷・風水害・その他、天災地変など外部に原因がある故障および損傷。

④ 故意、または、消耗による故障および損傷。

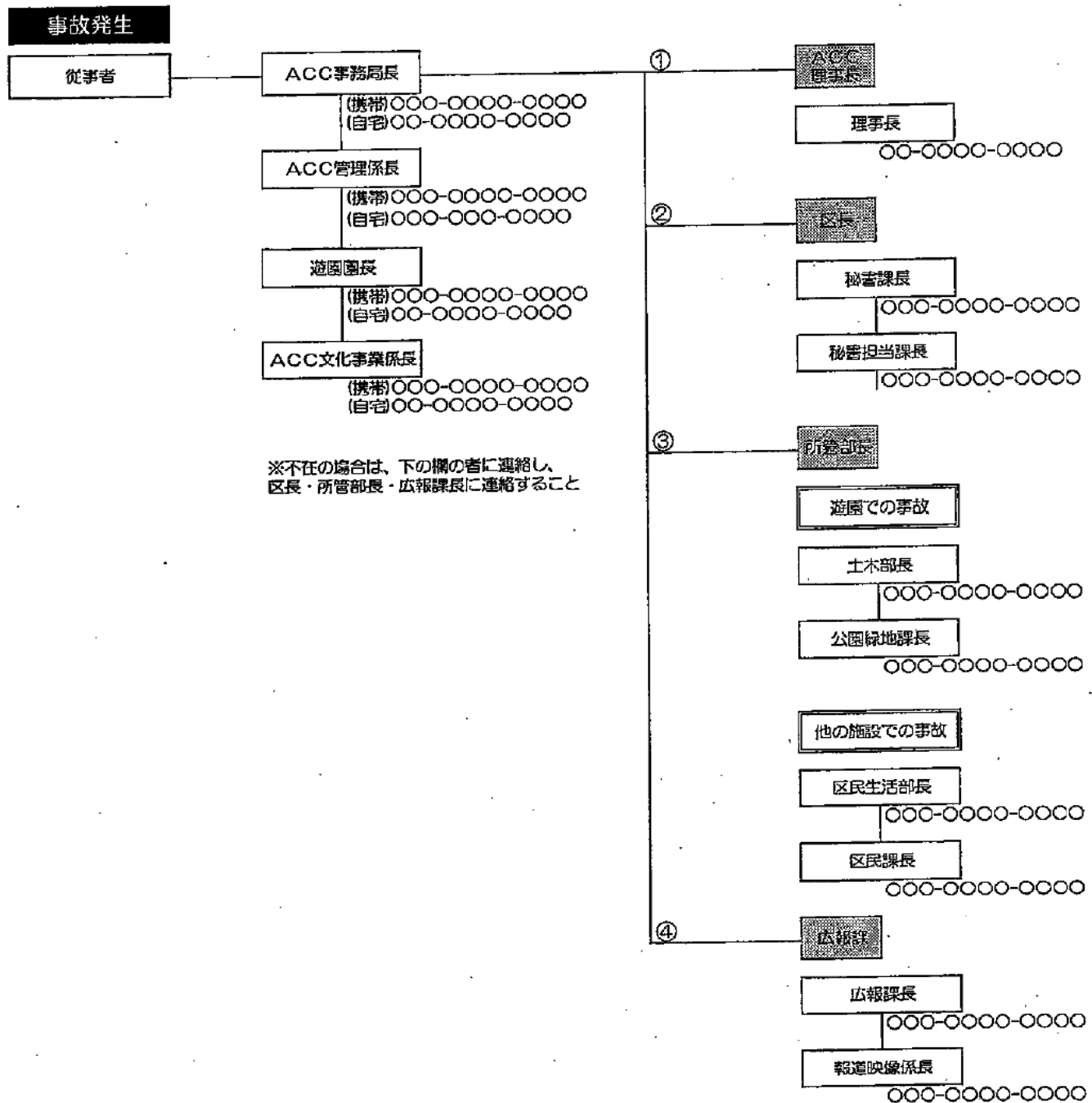
⑤ 納入年月日、および、担当者印なきものは無効。

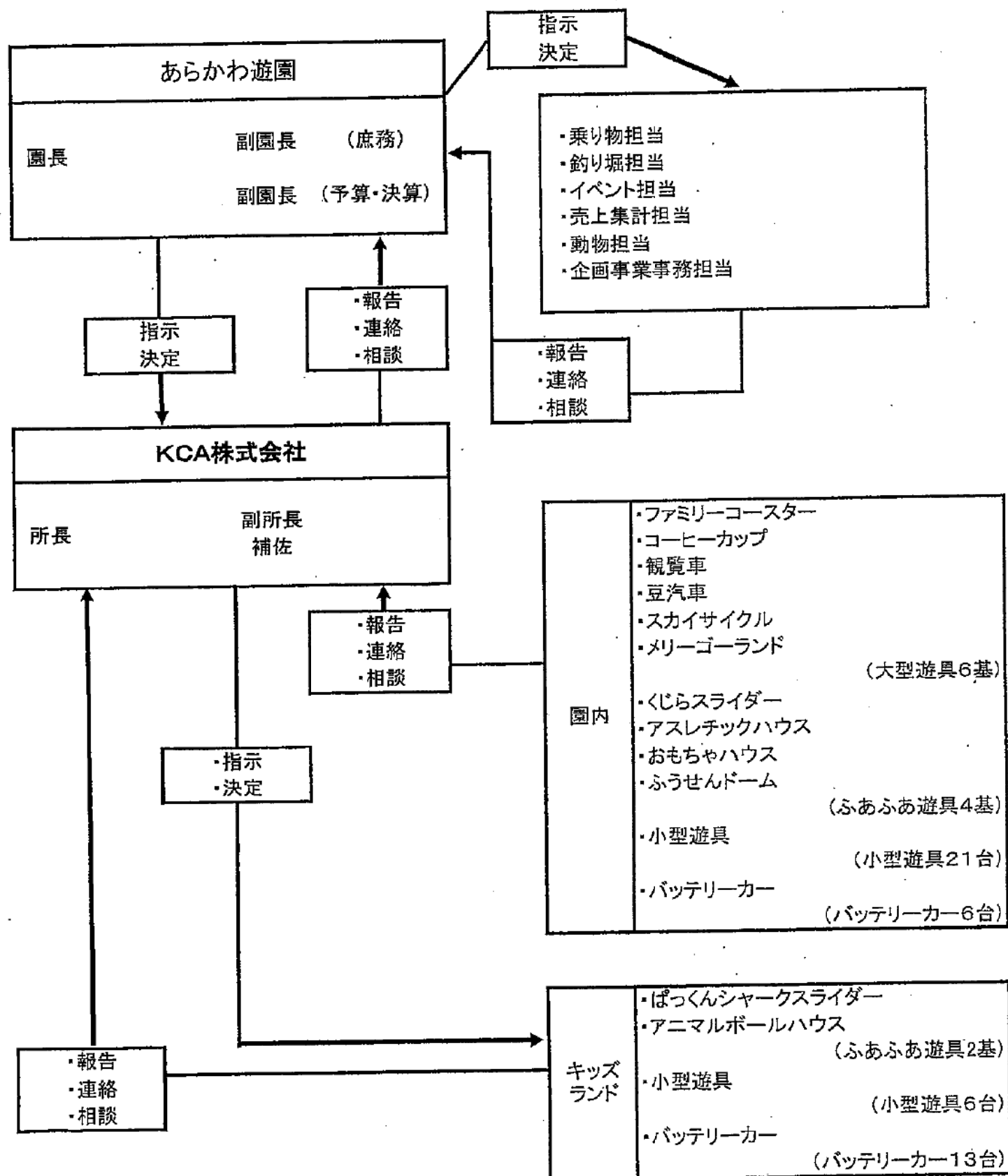
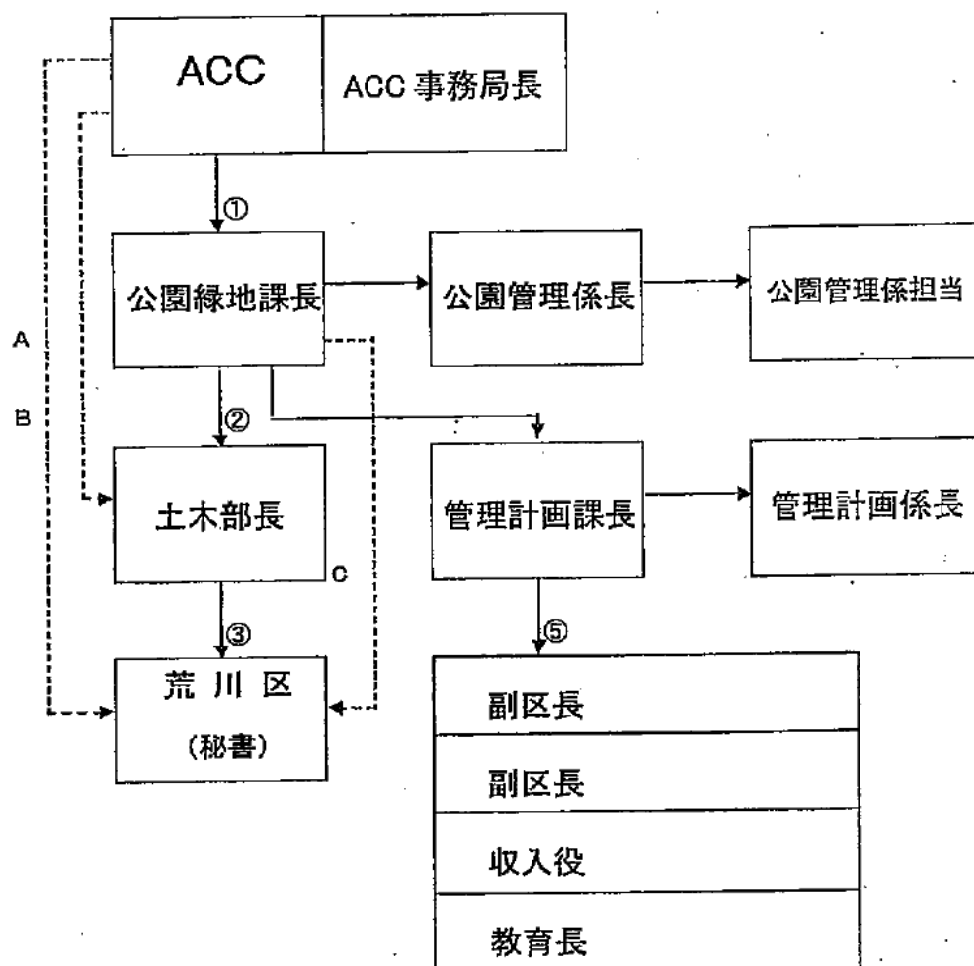
納入年月日　平成　　年　月　　日

担当者印

※その他不明な点は弊社担当者まで御連絡下さい。

事故が起こったときの緊急連絡先

別紙１０

あらかわ遊園の運営に関する指示命令系統図

平成20年3月5日

平成 20 年 2 月 28 日作成

荒川遊園遊具事故に関する調査委員会設置要綱

平成２０年２月２４日
１９ 荒 総総 第 1635 号
（ 副 区 長 決 定 ）

（設置）
第１条　区立荒川遊園における遊具事故（以下「事故」という。）の発生を受け、原因の究明と問題点の把握、再発防止に向けた改善策等を検討することを目的として、荒川遊園遊具事故に関する調査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
（所掌事項）
第２条　委員会の所掌事項は、次のとおりとする。
（１）　事故発生の原因及び問題点に関すること。
（２）　再発防止に向けた改善策に関すること。
（３）　その他区長が必要と認めること。
（組織）
第３条　委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。
（委員長等）
第４条　委員長、副委員長及び委員は、別表のとおりとする。
２　委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故のあるときは、その職務を代理する。
（会議）
第５条　委員会の会議は、委員長が招集する。
２　委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者の会議への出席を求めることができる。
（庶務）
第６条　委員会の庶務は、総務企画部総務企画課において処理する。
（雑則）
第７条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、委員長が別に定める。

別表（第４条関係）

委員長	三嶋副区長
副委員長	三ツ木副区長
委員	収入役
	教育長
	管理部長
	区民生活部長
	土木部長
	総務企画部総務企画課長
	総務企画部企画担当課長
	総務企画部秘書課長
	総務企画部広報課長
	管理部経理課長
	管理部職員課長
	区民生活部区民課長
	区民生活部文化交流推進課長
	区民生活部参事（荒川区地域振興公社事務局長）
	土木部管理計画課長
	土木部公園緑地課長